

議案第 2 号

「併設型C中高一貫教育校（仮称）基本計画」について

県立学校の設置に係る「併設型C中高一貫教育校（仮称）基本計画」を別紙のとおり定める。

平成26年12月24日

沖縄県教育委員会

## 「併設型C中高一貫教育校(仮称)基本計画」

### 1 背景

中高一貫教育校(連携型、併設型、中等教育学校)は、これまでの中学校・高等学校に加えて中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育を目指すものとして、平成11年4月に制度化された。

県教育委員会においては、平成14年度(伊良部高校)・平成15年度(本部高校)・平成16年度(久米島高校)に計3校の連携型、平成19年度(与勝高校)に併設型の中高一貫教育校を設置した。(第4期(H14~H23)県立高等学校編成整備計画)

県立与勝緑が丘中学校・県立与勝高等学校における併設型中高一貫教育校は、地域との連携を深め地域に根ざした特色ある教育課程を編成するなど地域活性化の拠点校としての位置づけである。

沖縄県において、平成22年3月に策定した「沖縄21世紀ビジョン」を具現化するためにも、本県を牽引する高い志を持ったグローバルに活躍できる人材育成が必要である。

第5期(H24~H33)編成整備計画において、中等教育の多様化を図る観点から、これまでの中高一貫教育校の成果や課題を踏まえ、生徒・保護者のニーズや財政状況等を考慮し、既存の高等学校に中高一貫教育校の設置を検討することになっている。

なお、平成26年9月17日の県教育委員会会議において県立開邦高等学校に県立中学校を平成28年度に併設する「併設型B中高一貫教育校(仮称)基本計画」を決定した。

### 2 必要性

- (1) 生徒一人一人の個性をより重視した教育を目指し、6年間の計画的・継続的な教育指導の展開ができるシステムを構築し、国内外の難関大学進学等への対応を図る。
- (2) 生徒や保護者の教育の選択幅を拡大する。
- (3) 21世紀をリードするグローバルな高い志を持つ人材育成を図る。

### 3 概要

#### (1) 学校の特徴

- ① 6年間の一貫・継続性のある教育課程の編成
- ② 中学校教員と高校教員の交流授業の充実
- ③ 少人数・習熟度別指導の充実
- ④ 6年間の一貫・継続した進路指導により高い志を実現
- ⑤ 異学年間の交流、特色ある教育活動等による魅力ある学校

#### (2) 設置形態

併設型

(3) 設置場所

県立球陽高等学校敷地内

(4) 学校規模

	1 学年学級数	学級数小計	1 学級定員	生徒数
中学校	1 学級	3 学級	40 名	120 名
高等学校	7 学級	21 学級	40 名	840 名
学校全体		24 学級		960 名

(5) 開校年度（中学1年生を受け入れ開始年度）

平成28年度

(6) 中学生の通学区域

県全域

(7) 入学者選抜方法

- ① 併設型C中学校への入学者の選考については「沖縄県立中学校入学者決定方針」に基づき、別途「入学者選抜実施要項」で定める。
- ② 併設型C中学校から県立球陽高等学校への入学に際しては、入学者の選抜は行わない。

ただし、他中学校から県立球陽高等学校への入学については「沖縄県高等学校入学者選抜実施要項」に基づいて行う。

(8) 施設・設備

中学校の教育課程を実施するために必要な施設・設備を整備する。